

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP [tps://isawachu.edumap.jp](https://isawachu.edumap.jp)〉

地区陸上記録会



森山総合公園での開催でしたが、暑さ対策として開始時刻変更、プログラム順入替等の工夫を取り入れての開催となりました。胆沢中生も3年生を中心に選手として、補助役員として活躍しました。たくさんの応援ありがとうございました。3位以上は次の通りです。

<男子>

1年 100m 3位 千葉汎星
 3年 100m 1位 瀬谷駿太
 1年 1500m 1位 及川裕翔
 3位 菅原佑太
 2, 3年 1500m 1位 栗野金惺

共通 4×100mR 2位

(伊藤楓之介、高橋悠有、小野寺陽向、瀬谷駿太)

低学年 4×100mR 2位

(佐々木匠、遠藤悠起、鈴木星那、千葉汎星)

<女子>

共通 4×100mR 3位

(千葉めい、青木麻歩、佐藤莉奈、井上メリー)

共通 200m 3位 井上メリー

芸術鑑賞教室

胆沢文化創造センターでわらび座のミュージカル『いつだって青空』を鑑賞しました。

明治時代、秋田県出身で日本女子体育の母といわれている井口阿くりさんを主人公にした物語でした。女性がスポーツをすることについて、主人公が尽力する姿を音楽にのせて表現した作品でした。

わたしの主張地区大会



本校からは千田俐希さんが出場しました。大会では「父の背中を追いかけて」と題し、朴ノ木沢念仏剣舞に取り組んできた自らの体験をもとに、今の思いを大勢の前でしっかりと発表し、優良賞を受賞しました。

陸上全国大会

松山市（愛媛県）で開催されました。本校から、千葉心人さんが800m、高橋陽さんが1500mに出場しました。両名とも全国の舞台の雰囲気味わいながら、精いっぱい走り披露してくれました。走る様子は動画配信やTV中継で紹介されました。

高橋陽さんは決勝に進出し、第2位を獲得しました。おめでとうございます。

休み明けテスト

1年生にとっては最初の実力テストでした。答案は返却されていますが、その後の取組は十分でしょうか。もう一度解いてみる、解説を使いながら1学期の定期テストと比べてみる、疑問に思ったことを解決する学習を行うなどの事後学習を行うことで、より理解も深まります。「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決る（稲森和夫）」という言葉もあります。地道な取組の継続を期待しています。

担任シャッフルデー

2学期最初の学級担任シャッフル（朝の会、給食、清掃、帰りの会）を行いました。全校生徒が、自分の学級のことを自分たちだけで行

っていけるようになることを願って実施しています。今後も継続します。

熱中症予防

連日30度を超える暑さが続いており、この後も高温が予想されています。学校では毎日機器を使って状況を複数回計測し、活動実施の判断としています。水分補給、休憩もこまめにとらせています。ご家庭でも食事、睡眠、体調管理への声掛けをお願い致します。

高1調査②「普段の自分」

自分とは違う考え方の人も受け止めようとする
あてはまる+やや 88.3%

自分が何に興味や関心があるかわかっている
あてはまる+やや 80.8%

やるべき事が分かっている時は指示前に取り組む
あてはまる+やや 69.4%

問題が起きた時どのように解決できるかを考える
あてはまる+やや 78.0%

何かに取り組む時は進め方や考え方を振り返る
あてはまる+やや 57.3%

勉強することの意味について自分の考えがある
あてはまる+やや 53.9%

仕事をする意味について自分の考えがある
あてはまる+やや 76.6%

振り返ることについて、胆沢中では意識的に取り組んでいます。授業（学習）や毎日の生活の中で、見通しをもつ場面を設定すると共に、自分の行動を振り返ることを通じて修正を図るものです。このことの繰り返しは学習や生活の土台として大切なものと捉えているからです。